

広瀬 寛人

〔ふらの未来の会〕

富良野市の各種データ分析は

問 主要データの分析結果は。
答 平成2年から22年までの若年女性人口は、24・3%減少。給与所得者の女性比率や年齢、市民税減免や国保税については分析してない。

観光経済調査の就業者数は、平成18年度が2093人に対し平成25年度は2259人で166人増加となっている。



統計資料

問 各所管部署のデータを統合した分析の必要性は。
答 特に人口減少対策に各種

データの総合的分析が必要と考える。外部有識者を含めた審議会を設置し、各種データを踏まえた計画づくりを進めたい。

建設土木企業の現状と課題は

問 工事代金の支払い方法に改善の余地は。
答 工事の進捗出来高が2分の1に達した場合に、請負金額の20%を支払う中間前払い金制度及び工事完了後の未払い代金を債権として受注業者から金融機関が買い取る債権の流動化制度の導入を検討する。

問 その他支援制度・施策として設計労務単価の年度途中の見直し、少額工事の早期発注・ゼロ市債工事の発注や住宅リフォーム制度の再開及び制度拡充の考えは。
答 特例措置により新労務単価が年度途中で変更となった場合は請負代金の変更が可能となるよう実施、小額な単独費の工事等は早期発注に努める。ゼロ市債工事の発注は、必要性に応じて対応する。住宅リフォーム制度は現行制度の拡充も含めて検討する。

黒岩 岳雄

〔ふらの未来の会〕

外国人旅行者の誘致は

問 消費税免税制度の活用について。
答 今年10月1日より実施される「外国人旅行者等への消費税免税販売制度」の説明会を運輸局及び国税局から講師を迎えて開催している。現在、各事業者が対応を検討している。今後、外国人旅行者に対し、市内免税と連携し、ホームページ等への掲載を行う。また、外国人旅行者の嗜好に合わせた商品開発については、関係団体とともに各国の実態を把握し、国、道、市など各種支援を検討する。

地域の雇用対策は

問 雇用環境改善に伴う課題と対策について。
答 景気が持ち直し、7月のハローワーク富良野出張所管内の有効求人倍率は1・03%である。建設・医療・介護・サービス・

運輸・観光といった業種での人材不足、労働力不足は深刻な課題と受けとめている。今年度、緊急雇用創出事業を活用し、介護事業所の必要な人材育成事業を実施している。また「ふらの就職応援フェア」として地域の求職者と地元企業の面談会を年2回開催している。主婦層や高齢者などの活用も含め、関係企業、団体や関係機関と情報共有し連携する中から、さまざまな就労形態に合わせた取り組みを検討したい。市内企業の育成は、人材や消費の域外への流出を防ぐとともに、地域の雇用確保にもつながるなど、重要な取り組みであると認識している。今後関係団体と連携して推進する。



ハローワークの求人コーナー